



亀高幼稚園
 奥出雲町亀高 2204 番地 2
 TEL 0854-57-0250
 情報奥出雲 71-0250

令和7年2月10日発行 NO.131

今年もあっという間にひと月が過ぎ、節分を迎えました。暦の上では、いよいよ春になりますが、昔から言われる、この“節分荒れ”なくして春は迎えられないようです。雪の下に潜む春を信じてもうしばらくこの雪とのつきあいです。

さて、年が明けてこのひと月の間、子どもたちはお正月あそびをじっくり楽しんでいる様子でいました。パズルやかるた、コマ、あやとり、けん玉、そして縄跳び…と。挑戦してみるもなかなか簡単にはできるようにならないことにおもしろさを感じられるまでには時間と根気が必要です。また、気持ちが途切れず挑戦し続けるには友達や大人の存在が大きく影響します。お家の人が挑戦している子どもたちを傍で応援してくださったり、大人も一緒に楽しむ時間をもって下さったりしたことが子どもたちの愉しさに繋がっていると感じました。

目を引く遊びがたくさん溢れる中、何か一つでも、もう少しやってみる、まだやってみると遊びこんでいくことはこの就学前期に経験して欲しいことの一つです。

さらに、同年代同士で、異年齢で、大人を交えて、自分の遊びを深めていきながら、就学や進級へのエネルギーを蓄えていける2月にしていきたいと思います。

園長 山田

2月の保育目標

寒さに負けず元気に身体を動かして遊ぶ

寒波から始まった2月です。窓の外を見ていた、りす組の子どもたちが「雪、来る、来る！」と言いながら保育者を呼んでいます。雪が吹雪く様子を伝えようとしてくれました。2月も雪遊びがたくさんできそうです。登園時に大きなつららを持ってきてくれたり、様々な容器に氷を作ろうと仕掛けをしている子どもたちです。寒さを楽しむ姿が見られます。室内で過ごすことが増えますが、運動用具を使ったり、身近にある物を使って体を動かして遊びながら、元気な体作りをしていきたいです。また、この冬、あやとりやコマ回しに夢中になっています。全身運動だけではなく、指先を使って集中して遊ぶ子どもたちの姿を見守りながら「出来た！」「見て見て！」と子どもたちからの発信を受け止めていきたいと思います。

2月の行事

3月の行事

- 3日(月) 集金日
節分
- 4日(火) あのね(ひよこ・りす・うさぎ組)
- 12日(水) 亀高小学校入学説明会(そう組保護者)
- 13日(木) 1日入学・給食体験(そう組)
- 14日(金) ふれあい参観日
(ぱんだ・うさぎ・りす・ひよこ組)
- 18日(火) あのね(ぱんだ・きりん・そう組)
避難訓練
- 21日(金) 保護者役員会(18:30から)
- 26日(水) 弁当の日 きな粉づくり

- 3日(月) 集金日
- 4日(火) あのね(ひよこ・りす・うさぎ組)
- 11日(火) あのね(ぱんだ・きりん・そう組)
- 26日(水) 卒園式(そう組保護者参加)



一日入学の招待状を1年生が持ってきてくれました。ますます楽しみになりました。

いっしょに
やってみよう！
きっと楽しいよ☆

節分行事を行いました。うさぎ組からそう組は自分の「心の鬼」(朝の支度グズグズ鬼、お布団から出られない鬼、好き嫌い鬼など)に新聞豆を投げて追い払いました。また、自分たちで作った鬼面をかぶって、他のクラスを回り「鬼だぞ〜、悪い子はいないか〜」と低い声で大きな動作。子どもたちがそれぞれの鬼のイメージを表現していました。

節分と言うと「鬼」のイメージが大きいですが、次の日は「立春」で暦の上では春になることも、子どもたちに話をしました。



柗の葉、イワシの頭、炒った豆で鬼を退治できるお話をしました。

小学生との節分交流

亀高小学校の5、6年生が鬼に扮して登場してくれました。節分の集まりが終わった後だったので、子どもたちは何が始まるのかドキドキしていました。お面をかぶったお兄さんたちにビックリしながらも、小学生が持参した新聞豆を投げて鬼を追い払いました。



1月は雪遊びを楽しみました。雪山を作って、滑り台にして遊んだり、雪だるまを作ったりしました。雪が降ると子どもたちは大喜びです。冷たさにも勝る楽しみがあるようで、雪の園庭ににぎやかな声が響いていました。

ひよこ組、りす組は室内で雪に触れて遊びました。「冷たいね」と言いながらも手に取り「なくなった！」と不思議そうに遊びました。



おおきなあれ おいしくなあれ！

1月末の給食に「真珠蒸し」が出ました。真珠蒸しは肉団子(シュウマイのたね)にもち米がまぶして蒸してある料理です。毎日、給食室に「今日の給食は何だろう？」と見に行っているぱんだ組とうさぎ組の子どもたちが、そろって「今日はおにぎりだ〜。でもご飯もある〜」と言っていました。食べてみると「お肉だ〜」と喜んで食べていました。見た目と味や食感の違いに驚きながらもおいしくいただきました。

食事を提供するにあたり、子どもたちの五感が働くように心がけている中で、子どもの反応が分かる給食になりました。また、給食後に「おいしかったよ。」と言いに来る園児の姿がありました。節分行事をした日で、子どもたちには少し食べにくいイワシでしたが、園児の言葉にうれしく思いました。